

第39期 中間報告書

2019年1月1日~2019年6月30日



Heart

社会や企業の発展も、 個人の成長も技術開発も、 すべて正しい人間関係が 基本であることを認識し 「人と人との心のつながりを 大切にしよう | という意味を 表しています。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄の こととお喜び申し上げます。平素より格別のご高配 を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに「第39期中間報告書」をお届けするに あたり、ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長 今村

いよいよ第2創業期が本格的に始動しました。

第39期第2四半期(2019年1月1日~ 2019年6月30日) におけるわが国経済は、 雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が 持ち直し、企業収益は底堅く推移している ものの、海外経済や通商問題動向などが不確 実性を増しており、先行き不透明な状況で 推移しました。

当社グループの主要顧客である大手製造業 各社においては、電機・半導体分野について 一部弱含みも見られましたが、自動車関連 分野は次世代車向けの研究開発投資が活発で あり、総じて堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、 2019年度の事業方針に「社会変化を捉え、 未来思考による行動を加速 ~第2創業期の 新たな事業価値を創り上げる~」を掲げ、

本格始動した第2創業期にあたり、さらなる 最高業績の更新に向け邁進しております。 また、時代に先駆け、次代に挑戦してきた 当社は、外国人材・女性の活躍推進、アグリ (農業)、介護等の事業活動を通じて社会的 課題を解決すべく積極的に取り組んでおります。

下期におきましても、刻々と変わる外部 環境の変化を的確に捉え、新たな未来に向け、 成長基盤を拡大してまいります。

これからも株主の皆様のご期待にお応え できるよう、全力で取り組む所存でござい ますので、引続きのご支援を賜りますよう、 よろしくお願い申し上げます。

2019年9月

グループ5,000人の会社に

お陰様で、当社グループは5,000人を超す 会社へと成長しました。

採用環境が激化する中、大学との関係強 化や社員紹介、認知度向上等、様々な施策に 取り組み、さらなる躍進を目指してまいります。



2019年4月新入社員入社式>

働きがいのある会社に ~ESP(エンプロイーサポートプロジェクト)~

当社は2007年に「エンジニアサポート プロジェクト」を発足し、新卒からシニア まで長く技術者が活躍できるようフォロー アップ活動を推進してまいりました。

そして今般、全社員にとって「働きがいの ある会社」を実現すべく、新たに「エンプ ロイーサポートプロジェクト」を立上げ、 さらに魅力ある会社づくりを進めます。

●主な活動●

社長から現場社員への[チー

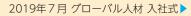
- 想いの発信
- 技術者に対するきめ細やかな 2

ブラザーシスター体制の構築

3 (外国人社員の先輩が後輩の 面倒を見る制度)

ダイバーシティー活躍する外国人材

当社グループには世界中の国々から多様な人材 が集まり、活き活きと活躍しています。





時代に先駆けた外国人材活用

ESG: 事業活動を通じた社会的課題解決への取り組み

社会的課題

80年代~

高度技術

当社の 事業活動 開発・設計 高度技術 サービス 2000年代~ 外国人材 育成開始



人手不足

構想:90年代∼

介護

2000年代~

アグリ(農業)

• 介護人材

- ・アグリテック人材
- ・就農人材

事業活動推進 ⇒ 社会的課題の解決 ⇒ 企業価値のさらなる向上



第2回グローバルスピーチコンテスト開催

本イベントは、言葉の壁や文化の違いを認め合い、交流 を深めるために昨年から実施しています。

今年も日本人とグローバルエンジニアの混合チームで異文 化体験等を発表し合い、会場は大いに盛り上がりました。

優勝した 「相模原営業所チーム」



■ 第2弾TVCMが放送されました

当社の第2弾TVCMが全国主要地域で放送中です。当社が挑む「エンジニアの『働く常識』を変えて ゆく という決意が映像化されています。



TVCMに込めた想い

「変化に対応出来る事こそが、 本当の意味での『安定』。『働く』価 値観が変わりつつある今だから こそ、伝えたい。アルプス技研は、 エンジニアの『働く常識』を変えて ゆく。今までも、そしてこれから も。このような想いを込めて、第2弾 TVCMを制作しました。



TVCM映像



昨年に続きミャンマー祭りにブースを 出展し、当社グループの23年に及ぶ先駆者 としてのミャンマーとの関わりを広くPR しました。

期間中、延べ950名もの方に来場頂き、 当社の農業・介護・技術人材育成について 多くの関心が寄せられました。

当社公式キャラクター「アルスくん」が来場者にPR



☼ SDGsの取り組み

ALPS × **SDGs**

当社グループは、国連が提唱する「持続可能な開発目標」に賛同し、 経営理念「Heart to Heart」の基、技術開発をはじめとしたアウト ソーシング事業等を通じ、持続可能な社会実現に向けて貢献いたします。

社会変化への対応





































健康経営











人材育成















CSRACTIVITIES

様々な社会貢献活動にも、積極的に 取り組んでおります。

当社は、良き企業市民でありたいとの理念から、 財団やNPO法人を通じ様々な分野での社会 貢献活動を推進し、地域社会の要請と信頼に お応えしております。

当社の経営理念は 『Heart to Heart』です。 事業を通した環境保全・社会貢献活動は もちろん、様々なシーンで 「人と人、人と自然のつながり」を 大切にした活動への参加や支援を 幅広く行っております。

5月 田植え体験

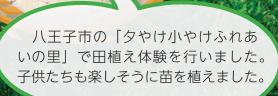
NPO法人 ふれあい 白然塾

当社では、子供たちに「情操教育の一端として、 環境保全の大切さを学んで欲しい との願いから、 NPO法人の活動を支援しております。

6月 植樹体験

ハイキングと

矢越山でハイキングと植樹を行い ました。大木への成長を願い、豊か な自然の大切さを学びました。



公益財団法人 とかち財団

8/4とかち財団 帯広駅前に事業創発拠点[LAND]開設

7月

地域産業の新たな価値を生み出す人材発掘や事業者・企業間の連携を促進すべく、「LAND」を開設しました。内覧会では、創設に関わった帯広市米沢市長、公益財団法人とかち財団長澤理事長、同理事松井利夫による対談で、「10年後の十勝」をテーマに起業家支援への想いを語りました。



▲LAND開設テープカット (左:当社創業者 最高顧問 松井利夫)

7月

武蔵大学での特別講義

当社創業者 最高顧問 松井利夫が 武蔵大学で起業家精神と地域活性化 をテーマに特別講義を行いました。



8月

LANDオープニングセレモニーでの講演

当社創業者 最高顧問 松井利夫が起業家育成や十勝にかける想いについて、LANDの来場者に講演しました。

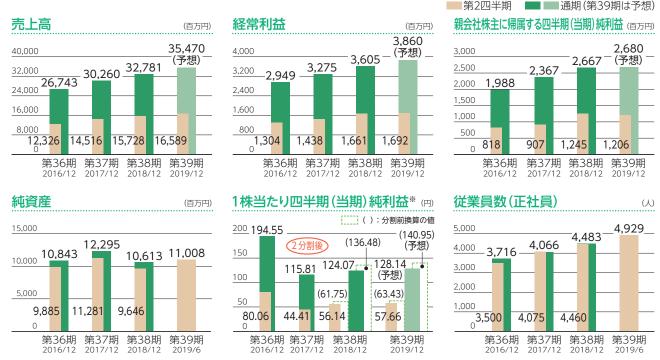


▲大使館で当社のバリアフリーやSDGsの取り組みを紹介

2020バリアフリープロジェクトへの協賛

2020年東京パラリンピックに向け、「日本から世界に心のバリアフリーを発信する」ことを目的に活動中のプロジェクトに協賛しました。

連結財務ハイライト Financial Highlights



※2018年1月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割しているため、第37期の期首に当該株式 第37期は分割後の数値を掲載しております。また、2019年7月1日を 分割が行われたものと仮定し、 効力発生日として普通株式 1 株を1.1株に分割しているため、第38期の期首に当該株式分割が行われた ものと仮定し、第38期・第39期は分割後及び分割前換算の数値を掲載しております。

主な上期トピックス

先端技術の推進

·般社団法人AIビジネス推進コンソーシアムに 加入し、先端技術人材を積極的に育成。

RS実施に伴う自己株式処分(4月)

長期的な企業価値向上に資する施策としてRSを 継続実施。※RS…譲渡制限付株式報酬

グループ採用

グループ連携を強化し初の5千名体制へ。 就農、アグリテック分野の外国人材も積極採用。

パナR&D優良派遣事業者認定(3月)

国内子会社「(株)パナR&D|が指定審査機関より 「優良派遣事業者」として認定。

第39期(当第2四半期連結累計期間)の事業の状況(2019年1月1日~2019年6月30日)

当社グループの中核である技術者派遣事業では、採用施策の強化、優秀な技術者の確保に努めました。また、全社で高稼働率の維持及び契約単価の向上、チーム派遣の推進等の営業施策に取り組んだ結果、稼働率は高水準を維持し、稼働人数、契約単価ともに上昇いたしました。これらの技術者派遣事業における諸要因を主因として、当第2四半期連結累計期間の売上高は

165億89百万円(前年同期比5.5%増)となりました。また、採用活動の早期化に伴う募集費の増加により、営業利益は16億44百万円(同0.4%増)、経常利益は16億92百万円(同1.9%増)となりました。前年度は創業者の50周年記念寄附金があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億6百万円(同3.2%減)となりました。

**セグメント別の状況(連結)

アウトソーシンク サービス事業 _{売上高} 163_億19_{百万円}

営業利益

16_億14_{百万円}

優秀な人材の確保、契約単価の 改善等の採用・営業施策に注力 した結果、稼働人数は増加し 契約単価も上昇したため、増収 となりました。

事業内容

当社グループの中核である 技術者派遣事業を中心とし た派遣及び請負による技術 提供業務

売上高

グローバル事業

2億69百万円

営業利益

一部大型案件の検収を下期 に見込んでおり、減収となり ました。

28百万円

事業内容

海外の日系企業等に対する、 生産設備等の据付業務及び メンテナンス業務並びに人材 サービス

第39期 第2四半期 連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表(要旨)

(百万円)

区 分	当第2四半期末 (2019年6月30日)	前期末 (2018年12月31日)
(資産の部)		
流動資産	12,798	11,253
現金及び預金	5,927	5,902
受取手形及び売掛金	4,968	4,630
仕掛品	1,459	341
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	444	379
貸倒引当金	△2	△1
固定資産	6,016	6,087
有形固定資産	3,279	3,294
無形固定資産	460	493
投資その他の資産	2,276	2,299
資産合計	18,814	17,341

当第2四半期末 (2019年6月30日)	前期末 (2018年12月31日)
7,503	6,418
303	309
7,806	6,727
10,799	10,344
2,347	2,347
3,045	3,035
9,389	8,962
△3,983	△ 4,000
189	249
190	230
0	18
19	19
11,008	10,613
18,814	17,341
	7,503 303 7,806 10,799 2,347 3,045 9,389 △3,983 189 190 0 19 11,008

株式分割について

2019年7月1日を効力 発生日として普通株式1株 を1.1株に分割いたしました。

分割比率1对1.1

分割基準日

2019年6月30日(日)

効力発生日

2019年7月1日(月)

利益配分に関する基本方針

利益配分につきましては、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと して位置づけ、業績に応じた成果配分を目指しております。2019年12月期の中間 配当金は1株当たり35円、期末配当金は株式分割前換算で35円20銭(予想) となり、実質20銭の増配となります。

2019年12月期配当(1株当たり)

	中間配当	期末配当 (予想)
1株当たり配当金	35円	32円 (分割前換算35円20銭)

四半期連結損益計算書(要旨)

(百万円)

	区分	前第2四半期 (2018年1月1日から) 2018年6月30日まで)	当第2四半期 (2019年1月1日から) 2019年6月30日まで)	前期 (2018年1月1日から) 2018年12月31日まで)
Point 1	売上高	15,728	16,589	32,781
	売上原価	11,767	12,291	24,406
	売上総利益	3,961	4,297	8,374
	販売費及び一般管理費	2,322	2,653	4,788
Point 2	営業利益	1,638	1,644	3,586
	営業外収益	62	72	114
	営業外費用	39	23	95
Point 2	経常利益	1,661	1,692	3,605
	特別利益	200	100	300
	特別損失	17	1	81
	税金等調整前四半期(当期)純利益	1,844	1,790	3,824
	法人税、住民税及び事業税	697	604	1,217
	法人税等調整額	△100	△19	△61
	四半期(当期)純利益	1,247	1,206	2,669
	非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	1	0	1
Point 3	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,245	1,206	2,667

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(百万円)

区 分	前第2四半期 (2018年1月1日から) 2018年6月30日まで)	当第2四半期 (2019年1月1日から) 2019年6月30日まで)	前期 (2018年 1月 1日から) (2018年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,415	612	2,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	△157	△ 1,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,789	△430	△ 4,459
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22	△12	△ 33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,603	12	△ 2,539
現金及び現金同等物の期首残高	7,945	5,406	7,945
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,342	5,418	5,406

Point①赤上高

アウトソーシングサービス事業において、技術者数・稼働人数が増加し、契約単価も引続き上昇した結果、売上高は前年同期比5.5%増の165億89百万円となりました。

Point2 営業利益/経常利益

採用活動の早期化に伴う募集費の増加により、営業利益は同0.4%増の16億44百万円、経常利益は同1.9%増の16億92百万円となりました。

Point③ 四半期 (当期) 純利益*

前年度は創業者の50周年記念寄附金があったことから、当第2四半期純利益は同3.2%減の12億6百万円となりました。

※四半期(当期)純利益

…親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

会計概要 Corporate Profile (2019年9月1日現在)

事業所一覧/グループ会社一覧 Network

会社概要

号 株式会社アルプス技研

英訳名 Altech Corporation

本 社 〒220-6218 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁月3番5号 クイーンズタワーC 18階

TEL.045-640-3700(代表)

アルプス技研第1ビル(旧事務管理・総合研修センター) 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本五丁月4番12号 アルプス技研第2ビル

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本一丁月16番18号

業 1968年7月

設 立 1971年1月

資本金 23億4.716万円

拠 点 国内25拠点

(営業所、ものづくりセンター室)

■ 創業者 最高顧問 松井 利夫

取締役・監査役及び業務執行役員(2019年9月1日現在)

代表取締役社長 今村 業務執行役員 牧野 華苗 常務取締役渡邉 信之 立志 業務執行役員 清水 役 野田 貴彦 業務執行役員 市村 役 河野 業務執行役員 須目 昌志 締 取締役(社外) 田辺 恵一郎 業務執行役員 田代 和典 取締役(社外) 野坂 英吾 業務執行役員 石橋 武 取締役(社外) 呉 雅俊 猛 業務執行役員 杉本 忠雄 常勤監査役石井 業務執行役員 牧野 眞 監査役(社外) 智谷 浩志 業務執行役員 新谷 雅司 監査役(社外) 加藤 勝男 業務執行役員 神原 功二 補欠監査役甘粕

国内拠点 (25拠点)

▶北日本事業部

札幌営業所 仙台営業所 郡山営業所

▶北関東事業部

宇都宮営業所 日立営業所 つくば営業所

高崎営業所 大宮営業所

▶南関東事業部

東京営業所 相模原営業所 横浜営業所 厚木営業所

▶中日本事業部

松本営業所 甲府営業所

名古屋第1営業所 名古屋第2営業所

浜松営業所 静岡営業所

▶ 西日本事業部

京都営業所 大阪営業所 姫路営業所 広島営業所 福岡営業所

> アルプス技研第1ビル (旧事務管理・総合研修センター) (相模原) アルプス技研第2ビル 本社 (相模原)

(横浜)

ものづくりセンター室 宇都宮テクノパーク

蓼科テクノパーク

国内グループ会社 (3社)

(株)アルプスビジネスサービス

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番18号 アルプス技研第2ビル6F TEL.042-774-3339

技術職・事務職の人材派遣業務、技術者等の職業紹介事業、社員教育事業

(株)パナR&D

〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番3号 タゴシンビル TEL.03-5467-5611

・技術職の人材派遣業務、設計開発の請負、受託

(株)アグリ&ケア

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目16番18号 アルプス技研第2ビル4F TEL.042-738-2955

・農業分野へのアウトソーシング事業、介護分野へのアウトソーシング事業

⁽注) 1. 取締役のうち、田辺恵一郎氏、野坂英吾氏、呉雅俊氏は会社法第2条第15号に定める社外 取締役です。

^{2.} 監査役のうち、賀谷浩志氏、加藤勝男氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況 Stock Information (2019年6月30日現在)

海外拠点



1 ヤンゴン支店

Room (605), 5th Floor, Building(11), Myanmar ICT Park, Universities` Hlaing Campus, Hlaing Township, Yangon.

・ミャンマー国内における人材育成事業・エンジニアリングサービス事業 等

海外グループ会社 (2社)

- ②臺灣阿爾卑斯技研股份有限公司 台湾アルプス技研 台北市松江路146-5 TEL.886-2-2531-9933
 - ・各種プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス
 - ・総合人材サービス

3 阿邇貝司機電技術(上海)有限公司 アルテック上海

上海市静安区万航渡路 83号 金航大厦 1102室 TEL.86-21-6136-3802

- ・各種プラント設備機器、工場設備機器の設計・製作・据付及びメンテナンス
- ・技術人材ソリューション

提携会社 (1社)

- △阿爾卑斯科技(青島)有限公司 アルテック青島
 - ・技術者の養成・教育/研修、採用コンサルティング・受託型ソリューション

株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・3	89,000,000株
発行済株式の総数・・・・・・・2	22,496,978株
株主数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	····· 7,511名

大株主

· · · · · ·		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,131,600	5.95
アルプス技研従業員持株会	1,077,756	5.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,013,600	5.33
公益財団法人とかち財団	680,000	3.57
株式会社東邦銀行	669,936	3.52
株式会社横浜銀行	659,916	3.47
松井利夫	659,626	3.47
株式会社八十二銀行	347,646	1.83
GOLDMAN, SACHS& CO. REG	340,606	1.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	328,500	1.73

- (注) 1. 持株比率は、発行済株式の総数に対する比率であります。
 - 2. 上記、大株主には、自己株式3,470,221株を除いて表示しております。
 - 3. 上記は、株式分割前の持株数となっております。

所有者別株式分布状況





株式会社アグリ&ケア



① 「特定機関」認定

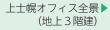
昨年の当社に続き、(株)アグリ&ケアが愛知県で 「特定機関」に認定されました。今後も農業分野に ついて積極的に外国人材の採用・育成・派遣を推進 いたします。

※特定機関…国家戦略特区内の農業経営体に外国人材を派遣 することができる派遣事業者



②北海道の上士幌町に「上士幌オフィス」開設

当社と縁が深く、農業・ 介護分野で潜在的にお 客様が多い十勝エリアに、 「上士幌オフィス」を開設し ました。道内の重要拠点 として活用いたします。





株主メモ

度 毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日 12月31日 中間配当金受領株主確定日 6月30日 定 時 株 主 総 会 毎年3月

株 主 名 簿 管 理 人 三井住友信託銀行株式会社

連 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

TFI.0120-782-031(诵話料無料)

○インターネットによるダウンロード

https://www.smtb.jp/personal/agency/index.

html

特別口座の口座管理機関 = 菱UFJ信託銀行株式会社

先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1

TEL.0120-232-711 (通話料無料)

〈郵送先〉

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所市場第一部

1 単 元 の 株 式 数 100株

告 の 方 法 電子公告により行います。

https://www.alpsgiken.co.jp/ir/index.shtml やむを得ない事由により、電子公告によることができない 場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(株式に関するお手続き)

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、 □座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。□座を開設 されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り 扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が □座管理機関となっておりますので、左記特別□座の□座管理機関(三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社アルプス技研

〒220-6218 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目3番5号 クイーンズタワーC 18階 TEL.045-640-3700 (代表) https://www.alpsgiken.co.jp/

当社公式キャラクタ

「アルス」: ラテン語で「技術・才能」

アルスくん

